



平成 27 年 11 月 30 日

各 位

会 社 名 日本アジア投資株式会社  
 代表者の役職名 代表取締役 細 窪 政  
 (コード番号 8518 東証一部)  
 問 い 合 せ 先 常務取締役 下村 哲朗  
 T E L 0 3 ( 3 2 5 9 ) 8 5 1 8

### メガソーラープロジェクト向けファンド設立のお知らせ

この度、日本アジア投資株式会社（以下、当社）は、自然エネルギー発電所の開発会社及び国内大手金融機関（以下、パートナー各社）と共に、メガソーラープロジェクトを投資対象とするファンド「RJA エナジー投資事業有限責任組合」（以下、当ファンド）を設立することを決定致しましたのでお知らせします。

#### 1. 当ファンドの概要

|         |   |
|---------|---|
| 名称      | RJA エナジー投資事業有限責任組合  |
| ファンド運用者 | RJA エナジーGP 株式会社<br>(当社とパートナー各社との出資で新設する合弁会社、当社出資比率 35.1%) |
| 出資者     | 当社、パートナー各社、その他金融機関（予定）                                    |
| ファンド総額  | 32 億円（予定）   |
| 主な投資対象  | メガソーラー発電所の建設・運営プロジェクト                                     |
| 設立予定日   | 平成 27 年 12 月中   |

#### 2. 当ファンド設立の背景と目的

当社は「インカムゲイン志向型投資」を新たな収益の柱の一つとすべく、長期的に安定した収益が見込まれるメガソーラー発電所の建設・運営プロジェクトへの投資を積極的に手掛けております。2015 年 10 月末現在におけるプロジェクトの開発実績は、企画中の案件も含めて 18 件、85.9MW に達しております。また、2014 年 12 月にはプロジェクトへの投資資金調達のため新株予約権を発行し、累計で 15 億円を調達いたしました。

当社が手掛けるメガソーラープロジェクトの開発においては、発電所の建設にかかる総工費の 80%程度を金融機関からプロジェクトファイナンスにより調達し、残りの必要資金を当社が他の投資家と共に拠出しています。

今般設立したファンドからは、ファンドの出資金に金融機関からのプロジェクトファイナンスによる調達資金を加え、総額 180 億円程度のメガソーラープロジェクトに投資を行う予定です。

当ファンドは、当社にとって初のメガソーラープロジェクト向け投資ファンドとなり、これまでの当社のメガソーラープロジェクトの開発実績に対して、一定の評価を得た結果であると考えています。

当社は今後も、当社に蓄積されつつある案件開発能力を活用し、当社自身の安定収益拡大のためにメガソーラー発電事業への投資を拡大するとともに、他の投資家に向けた案件も開発することで、収益機会の拡大を目指してまいります。具体的には、ファンド運営会社として、ファンドの出資者に向けて新

たな投資機会を提供すべく、為替リスクが無く長期安定運用利回りの期待できる金融商品として、メガソーラープロジェクトを投資対象とするファンドの設立にも注力してまいります。

そのためには、投資対象となる優良案件の発掘が不可欠となります。当社は、今後も有力なパートナー企業との協業を進め、全国各地でメガソーラーを中心とした再生可能エネルギーの発電所の優良案件の発掘に注力してまいります。

以 上